

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回食育推進会議
開催日時	令和6年8月5日（月） 午後2時00分から 午後3時30分まで
開催場所	福津市役所 別館大ホール A・B
委員名	(1) 出席委員 梅木 陽子 城野 加代子 川原 憲朗 花田 砂恵子 高崎 正敬 田志 元子 漆谷 慎一 中島 美香 林 チヨ (2) 欠席委員 児島 由美
所管課職員職氏名	こども家庭部 部長 中村 雅美 子育て世代包括支援課 課長 羽田野 美奈 子育て世代包括支援課 保健指導係長 安部真理 子育て世代包括支援課 保健指導係 丸山 康子
議 題 (内容)	(1) 令和6年度福津市食育推進の取り組みについて (2) 食のイベントカレンダーホームページ掲載について (3) 広報ふくつへの食育記事掲載について
公開・非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
非公開の理由	
傍聴者の数	1名
資料の名称	【資料1】 第2次福津市食育推進計画 進捗状況 【資料2-1】 令和6年度食のイベントカレンダー（参加 できるイベント） 【資料2-2】 令和6年度食のイベントカレンダー（事業 の紹介） 【資料2-3】 食のイベントカレンダーホームページ掲載 のご案内 【資料3】 令和6年度各課食育関連の広報掲載内容 【1-A】 「福津市子育て応援券」の送付について 【1-B】 食育月間の取組 【3-A】 広報ふくつ8月号表紙 【3-B】 広報ふくつ8月号特集「適塩生活で健康を手 に入れよう」 【3-C】 広報ふくつ8月号「福津ライフ」

会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録
	記録内容の確認方法
その他の必要事項	

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 開会のことば

2. 部長あいさつ

中村部長よりあいさつ

3. 委嘱辞令の交付

中村部長より、城野委員、川原委員、高崎委員へ委嘱辞令交付

4. 会長あいさつ

(福岡女子大学 国際文理学部 食・健康学科 准教授 梅木委員)

福津市と福岡女子大学が包括連携協定を結んでいる関係から、本会議に出席しています。会長は1代目が野口先生、2代目が水元先生、私が3代目として務めさせていただいております。

7月初旬に、千葉県で行われた日本食育学会で、私の研究室の客員研究員が、福津市の食育アンケートの2次利用の許可を得た上で、内容を再度分析した結果等を報告させていただきました。野口先生の時から食育アンケートを実施した経緯がございましたので、今も引き継がれて食育アンケートが行われており、それに基づいて計画が策定されていることを知られて大変喜ばれておられました。

食育アンケートは令和2年度に行われたのが直近でございまして、来年度またアンケートを実施する計画があるとお聞きしております。

また、この会議につきましては年度内に2回ほど例年行われておりますが、皆様には、市の現在の食育の推進状況や課題を持ち寄っていただき、次の計画に活かしていけるように、アンケートにもそういう内容を期待したいと思っております。

本日は、今年度第1回目の会議ということで、新しく就任いただきました委員さんをお迎えいたしましたので、会議でも活発な議論、意見交換が行われることを期待します。

5. 自己紹介

(城野委員)

食進会前会長である宗岡委員の後を引継ぎ、食進会の会長に就任しました。現在食進会の会員は40名です。私の考えとしては会員が学習会に全員来てほしいというのが一番の願いです。食進会の活動の中で食育に向かっていきたいと思っております。

(川原委員)

福岡県の福岡農林事務所北筑前普及指導センターへ今年の4月に北九州の普及指導センターから異動してまいりました。

普及指導センターは、福岡県の出先機関であり県内20ヶ所あり、主に専業農家の栽培技術支援を中心に行っております。

福津市では、カリフラワーが県内の唯一と言っていい産地であるということです。

カリフラワーは福岡県内あちこちにもありますが、大きな白いカリフラワーは、県内ではここが唯一の産地です。ブロッコリーとか、キャベツよりもカリ

フラワーは非常に栽培技術が難しいのですが、そういった技術力の高い農家の方が、この福津市におられるというのが特色ではないかと思えます。

福岡県のエコ認証制度というのがありますが、それは例えばキャベツだと、普通に栽培したら農薬が10回かけるところをその半分の5回にしますよ。あとは、化学肥料を、基準の半分にしますよという、2分の1にする認証制度です。福津市は、その認証制度を受けている方が、米で6名、野菜で7名、果実で1名おられ、環境に優しい農家を目指している方たちも多いということで、そういった人たちの支援もしています。

今回の会議では、生産面から色々お手伝いできればと思っておりますのでよろしくお願いします。

(田志委員)

福津市商工会の経営指導員をしております。商工会の会員約1,000人います。飲食業の方が創業する際、地元産を使っていただいて、メニューの一つに入れていただきたいということをアドバイスしています。

商工会の女性部で2年位前から玉葱ドレッシング作りを始めまして、とても好評です。先月、部員を対象として、地元産の玉葱でドレッシング作りをしました。

今後また機会がありましたら商工業者のためにも、福津市で食育を頑張っていることを伝えていきたいと思えます。

(中島委員)

公募委員として参加させていただいております。子育て世代なので、子育て応援券は非常に助かります。

自身で食育の活動として子ども向けの料理教室をしています。地産地消のお話や子どもたちの体が元気な野菜からつくられるというようなことも、少しでも伝えていきたいと思い取り組んでおります。

食育推進会議は、まちの声、そういった子育て世代の声を伝えるためにも参加させていただいております。

(花田委員)

あんずの里市利用組合の直売所で事務を行っております。あんずの里市は、もう30年ほどになります。地域の方たちの食材、学校給食、幼稚園の食材、市の料理教室の食材を提供しています。市や普及センターや農協の方などにご協力いただいております。

(高崎委員)

J A宗像の高崎と申します。J A宗像と言いますが、管轄は宗像市と福津市です。食育に関して言えば、青年部で小学校等で農業体験をしていますし、青年部以外でも小学校から農協の方に、田植体験等の食育の体験をさせたいという依頼がきて、それをしてくれる農家を探しています。田植でも植えるだけで終わりではないので、管理までしてくれる農家の協力がありません。農家を探して、学校と農家を繋ぐというようなことをしています。

食育というと、子どもばかりということがあるかもしれませんが、高齢者の女性部もあります。だいたい60歳以上の方が会員で、毎年、玉葱ドレッシングをいろいろな地区で作ったり、ゴキブリ団子を作ったりしています。

また、今度、福間支店の2階で親子味噌作り教室をします。この様にいろいろ食育をやっていますし、取り組んでいこうと思っています。

(漆谷委員)

公募委員の漆谷です。知り合いに簡単な栄養学のことを伝えたり、個別指導塾で英語と数学を教えています。その時に子ども達が疲れたら、食べ物のことを伝えたりしています。

また、スーパーで割引がある時は、割引された金額を募金箱に入れて還元するような形で社会貢献できたらいいなと思っています。

(林委員)

公募委員の林です。去年の3月ぐらいに、畑仕事をしたくて、自分の庭で作っていましたが狭いので、どこか貸してくれないかと市役所の農林水産課に行き、休耕田とか畑をつくる人がいない農家さんを紹介してもらい畑を借りました。食品添加物をため込んだ弊害であるとか、農薬の影響がありますので、まずは自分から安全な野菜を食べて、家族友達にも配りたいと思い始めました。出来た野菜を家族や友達に配っても余ったらどうしようかと思った時に、メッサークラブの子ども食堂の方が友達だったので、子ども食堂に持っていったりしています。

そして、福津市食生活改善推進会が開催していた「春のお弁当料理教室」に1食塩分2gのメニューがありましたので参加しました。塩分たったの2gでも食材のおいしさを生かし、すごく人気があったので市も色々取り組んで企画してくれているのでしっかり利用させてもらい、もっと食に関しての勉強をしたいと思っています。

(事務局)

中村部長、羽田野課長、安部係長、丸山それぞれ自己紹介

(事務局安部)

本日は所用により小島委員が欠席されておりますが、全部で10名の会議となっております。

それでは次第6の議事に移りたいと思います。これからの進行は、梅木会長にお願いいたします。

6.議事

(梅木会長)

それでは、議事に入ります。

議事1「令和6年度食育推進の取組について」事務局より説明をお願いします。

(事務局丸山)

資料1をご覧ください。

第2次福津市食育推進計画に沿って、各課の進捗状況をまとめています。なお、表の右端の列がR6年度の取組み案です。この中よりいくつか抜粋してご紹介いたします。また、前回ご意見、ご提案いただいた件につきまして、庁

内の食育推進プロジェクト会議で伝達しまして、各課の返答がございますので一緒にご報告させていただきます。

【1 ページ】左端の縦書きのところの目標「食を通して地域を知る」取り組みとして、上から2番目、農林水産課では、令和6年度もJA青年部と共働で、上西郷小学校でスイカの苗植え及び収穫体験。勝浦小学校で、水稻（すいとろ）の苗植え及び収穫体験を実施とありますが、前回の会議で収穫体験に関して2点ご意見いただいております。

1点目、「小学校での農業体験が勝浦小や上西郷小などの小規模校だけで、マンモス校ではできておらず、学校によって偏りがあるのご意見に関して」ですが、「現在体験学習ができているのは、苗植えのできる畑やグラウンドなど環境が整った学校になっているため、そのような環境がなければ難しいかもしれない。しかし他の学校もできることがあれば良いと思っている。」とのことでした。

2点目、「古賀市でのスイートコーンのような高齢生産者の農業を、ボランティアで収穫を行う体験のようなものが、福津市でもあったら良いのご提案に関して」ですが、「福津市では、収穫体験としては認定農業者協議会がみかん狩りをしている。高齢生産者で手が足りないところは、米などの稲作になるが、作業が大変なのでボランティアでの収穫体験となると難しい面がある。」とのことでした。また、広報8月号に掲載がありましたが、あんずの里さんがじゃがいも収穫体験を実施されています。

○上から3番目、地域コミュニティ課では各地域の活動を取りまとめているのでご紹介します。

宮司地区郷づくり推進協議会では、餅つき大会や大鍋料理教室または親子料理教室。

神興郷づくり推進協議会では、ランチフードパントリー。

上西郷郷づくり推進協議会では、ふれあい給食。

神興東郷づくり推進協議会では、郷づくりカフェを予定しています。

○次に上から4番目、郷育推進課では、郷育カレッジで、より受講生が食について関心が持てるように、今年度は「作ろう台湾料理」「ルーマニアの食文化・料理」の講座を予定しています。

○上から5番目、学校教育課では、生産者との交流会や、給食時間に生産者についての放送を実施しています。

○上から6番目、子育て世代包括支援課では、今年で3年目になりますが、小学生の夏休みの自由選択課題のひとつとして、地元の食材を使って料理に挑戦する「福津のめぐみで料理名人」を募集しています。

なお、11月16日～11月24日にイオンモール福津で作品展示を行う予定です。また、イオンモール福津と福津いいざいの共働により選ばれた作品は、お弁当化され、11月24日に作品の応募者にイオンモール福津でお弁当の販売体験をしていただく予定です。その他、市役所子育て世代包括支援課前でも作品展示をします。

本日配布資料 1-A をご覧ください。

こども課では、7月末に子育て応援食育推進事業として、福津市の直売所で使用できる子育て応援券 1万円分を配布しました。これは、500円の応援券が20枚綴りになっており、8月1日から11月30日までの使用期限のものです。子育て世代包括支援課もタイアップして、福津のめぐみで料理名人のお知らせ及び、旬の魚や野菜を紹介したチラシを入れました。

【2 ページ】目標「地元でとれたものをおいしく食べる」取り組みとして各課事業や、学校給食、保育所給食で地元産の食材を使用しています。本日配布資料 1-B をご覧ください。

上西郷小では、6月の食育月間に福津の鯛や野菜を使った給食が提供されました。

(梅木会長)

まず、A3の裏表1枚について何かご意見ございませんか。

前回の会議を受けて報告がありました。何か、ご質問とかご意見はございませんでしょうか。

(漆谷委員)

親子料理教室の件ですが、必ずしも全員の親が保護者ということではないので、対象が保護者と書いてあるので、タイトルも例えば「親子（大人の方）」等、親子は使ってもいいが、もう一つ対象の名前を広げてもらったらいいかと思えます。

(事務局丸山)

前回もご意見いただいておりますので、担当課に話ししたところ、保育所等でも、親子という言葉を使っているところが多く、やはり温かみがあるというところもあり、今年度は見送りたいとのことでした。

(漆谷委員)

親子は残して（保護者）とかそんな感じで広げたらいいかもと。

(事務局丸山)

そのように担当課へ伝えます。

(林委員)

田植え体験は難しいとのことでしたが、八女の棚田で田植と稲刈り体験に参加したことがあります。広いところは機械ですが、隅っこの機械が届かないところを市民に募集をかけて田植えをして、その米でご飯を炊いておにぎりを畔道でみんなで食べる体験でした。すごく一体型で高齢者だけで手が足りない棚田の作業を、体験したことがない市民がすることはお互い良いのではと思ったので、福津市の米農家さんで手が足りないなら田植稲刈りこそ市民協働の体験ができないのかなと思えました。

(事務局丸山)

何年か前には稲刈り体験をしていましたが、やらなくなったと聞いています。

(梅木会長)

J Aでの食育等の取り組みのお話が先ほどございましたが、そういった生産者の機会を提供して、そこにボランティアや体験が普段できない小学生等を受け入れる活動等がありますか。

(高崎委員)

先ほどの、八女の話は棚田であったりするので特別だと思います。ここら辺で人手が足りないからボランティアということは、基本的には考えられないかなと思います。農家は田植えや稲刈りの時期は忙しいです。だから小学校から体験をしたいと依頼があってもその時期が一番忙しい時期なので、なかなか受け入れるのは大変かと思います。今は昔と違い、だんだん生産者が減ってきて作れなくなった土地を若い人が受けて、機械で一気にやらないといけないという、1人が抱える面積が違ってきています。本当に高齢者が暇を持て余してされているような農業の方ではないと頼むのは難しいところです。

消費者側も、基本的には自分の利益がないことには参加しないので、宗像市の枝豆狩り体験のような500円で刈った枝豆を持って帰り家で食べるような、消費者に利益があるような取り組みをしないと人は来ないと思います。宗像市の枝豆狩りは食育になっているかは分かりませんが、人が集まるいい企画だと思います。

(梅木会長)

現在の人手不足の問題や後継者不足の問題もあり、なかなか食育に手が回らないという実情を教えてくださいました。その中でもできるところを何か情報共有できるような仕組みがあるといいなと理想的には思いますが、目標1のところでも説明がありましたように、学校の環境や規模感というところで、実際できたりできなかったりというところをそのままにしているのだろうかという問題もあるので、そこは望んでいる方と、提供してくださる方との林委員がおっしゃったマッチングといいますか、情報の共有化みたいな交流ができるような何かがあるといいのでしょうか。

食育カレンダーの中では、情報を発信するところの整備を目的に広報していますけれど、もう一步踏み込んで利用していただける、情報の公開というかそういった機会をうまく繋いでいかないと、せっかく企画したのに人が集まらないとか、お願いしているのにそのままになっているとか、そういったことがないように、できるだけ次の計画のところでは、アクティブプランになるような方向性で考えられると良いなとお聞きしておりました。

第2次食育推進計画では、食育情報が伝わっていないというような課題に対応してきました。毎年、会議に参加させていただいて、どのような食育活動情報が欲しいのかが分かってくる場所ですので、ぜひ皆さんの会議の意見の中から、次の計画に活かせるようお願いしたいと思います。

今日は解決には至りませんが、貴重なご意見を頂戴したと思っております。

(事務局丸山)

今月の広報ふくつにジャガイモ掘り体験のことが書いてありまして、これは、あんずの里さんがされている事業で100区画がすぐに予約で埋まったと書いてありましたが、どの様にお知らせしたか教えていただければと思います。

(花田委員)

まず市のLINEでお知らせしましたが、すぐに若い方の申込みがあり、すぐに埋まりました。他に広報に載せ、あんずの里で展示をしました。毎年100区画、1区画500円でしています。

(事務局丸山)

どこの地域の方が多いたかありましたか。

(花田委員)

日蔭野の周辺の方が多かったです。

(梅木会長)

LINEで情報の発信をされたということですね。今、ホームページで食育カレンダーを掲載していますがどれぐらい見ていらっしゃるのかというところと、タイムリーに発信できるLINEとを整理し、両方それぞれいいところを生かしていけるような機能を持たせると良いかと思いました。

(梅木会長)

それでは時間が限られておりますので、続いての説明をお願いします。

(事務局丸山)

【3ページ】 目標「若い世代が健康や食への意識を持つ」取り組みとして

○一番上のいきいき健康課では、食進会の皆さんと7/20に親子料理教室、8/2に子ども食育教室を実施し、食育教室では、小学4～6年生26名が参加し、おにぎらず、コールスローサラダ、味噌汁、白玉フルーツポンチを作って、みんなで食べ、インスタント食品に含まれる塩分量を確認し適切な塩分量や生活習慣病について学べる内容で実施しました。

○その他、大和保育所では、だしの取り方やクッキング、子育て支援センターなかよしでは食育講座、子育て世代包括支援課では健診で、食に関することや生活習慣病予防について伝えます。

【4ページ】 目標「規則正しい生活リズムを整える」取り組みとして

○各課それぞれ、生活リズムを整えて3食規則正しく食べる事を伝えます。

【5ページ】 目標「健康長寿につながる健康的な食習慣を身につける」取り組みとして

○一番上のいきいき健康課では、イオン福津、あんずの里、に適塩コーナーを設置し、食進会提供の「適塩レシピ」を定期的に掲示しています。

また、8月25日(日)にイオン福津店でイベントを開催します。イベント名は、「ふくつ Come 噛む DAY!」です。バランスの良い食事をよく噛んで

食べることが重要であることを伝えることを目的に、福津市、イオン福津店、福岡女子大学が共催で行います。

内容は、栄養バランスの取れた食事をするためのクイズラリーを福岡女子大が制作。

市が、よく噛むことのメリットや、よく噛む回数の多い食材ランキングや歯周病や生活習慣病、オーラルフレイル等のポスターを制作展示。ミニ適塩コーナーを設置。

歯科衛生士によるお口のトレーニングの実演。食進会によるレシピ配布、明治安田生命協力によるベジチェック。

また、日本栄養士会の栄養ワンダーに参加して行うことで、キウイフルーツと栄養の豆知識の載った冊子を1000セット配布します。

○次に、本日配布資料1-Bをご覧ください。上西郷小学校では、6月の虫歯予防週間に、噛み応えのある給食や、奥歯で噛むことの指導、噛むことの良さの指導をしました。

【7 ページ】 目標「食文化を次世代につなげる」 取り組みとして

○一番上、学校や大和保育所では、給食に郷土料理や季節の行事食を取り入れます。

○上から2番目、いきいき健康課では食進会とともに、郷土料理や伝統料理を適塩で調理する方法を料理教室等で紹介します。

【8 ページ】 目標「食に対する正しい知識を身につける」 取り組みとして

○一番上、郷育推進課では、郷育カレッジで食品表示の読み取り方に関する講座を開催します。

【9 ページ】 目標「地域の自然環境をみんなで守る」 取り組みとして

○一番上、郷育推進課では、郷育カレッジで食品ロスを減らすフードバンクの活動を紹介する講座を開催します。

○その下、学校では、本日配布資料にもありましたが、期間を設け残食を減らす取り組みをしています。

また、神興小学校では、野菜クズのコンポストでたい肥を作り、野菜や花を育てています。

【10 ページ】 目標「行政・学校・ボランティア・関係団体の連携を強める」 取り組みとして

○各課、様々な関係団体と協力しています。

【11 ページ】 目標「これも食育の啓発」の取り組みとして

○広報で食育の記事掲載をしています。また、各課広報やラインなどでも、食育に関するイベント情報発信しています。

(梅木会長)

食進会の適塩レシピをイオン福津店やレガネット、あんずの里で置いているとのことですが、反響はいかがですか。

(城野委員)

食進会はレシピを月2個ずつ一生懸命作っています。イオンはレシピがすぐなくなるような感じで聞いております。

(花田委員)

あんずの里でも適塩コーナーをつくり、味噌や醤油、カレー類を置いています。近隣は高齢者の方が多いので興味があるようですが、価格が少し高いので売れ行きはぼちぼちです。

また、福津市から送られてくるレシピをコピーし置いています。結構皆さん手に取って見えています。

(城野委員)

イオンはレシピを独自でアレンジして印刷している様子です。

(花田委員)

あんずの里ではアレンジするまで時間がないので、メールできたレシピを印刷しているだけです。

(梅木会長)

食進会がレシピの内容を提供なさっていて、それをそれぞれの店舗で活用しているということですね。レシピカードが来るわけではないのですね。

(花田委員)

レシピカードが来るのだったら便利なのですが。

(城野委員)

案を伝えたいと思います。

(梅木会長)

少し気になっていることがあります。適塩レシピの掲載場所は、減塩商品が置いてあるコーナーに置いている様ですが、気になっている方がそこに立ち寄りレシピを活用するには良いのですが、福津市らしい季節にあったレシピを多分考えていらっしゃると思いますので、野菜とか、食品のところにもあると、いつも使う食材で減塩料理を作ってみようかなとなるかと思っておりますので、適塩コーナーからスタートもいいですが、福津の食材から、適塩にという方向も良いかもしれないですね。

どういうところに掲載するのも、ぜひ食進会さんの方からご提案いただくと、より活用が広がるかと思いました。

皆様の方からも他に何かご意見がございますか。

(林委員)

味噌作り教室みたいなのがあるのかどうか教えてください。

(事務局丸山)

味噌作り教室は、食進会の料理教室で毎年開催されています。好評で若い方も参加されています。

(林委員)

それは広報等で案内がありますか。

(城野委員)

広報にも掲載しますが、LINEでお知らせもしています。LINEが一番良いです。今は参加者が多くて抽選になることもあります。

(高崎委員)

農協でも無添加での味噌作りをしています。

(梅木会長)

味噌作り教室が、いろいろなところで開催されているということを知ることができてよかったです。作られた味噌を使って、展開されていることはありますか。

(事務局丸山)

高齢者を対象に各地域の公民館で、いりこだしを使った塩分濃度の薄いみそ汁を味見してもらい家庭の味と比べていただき適塩を知っていただく活動を高齢者一体事業でしています。

(中島委員)

家庭で味噌作りも広がったらいいなという思いはありますが、皆さん手軽で簡単で便利さを求めている時代なので難しいところ。だけど関心を持ってくださる方は非常に多いです。

(梅木会長)

汁ものは、野菜等いろいろなものを食べやすくできるという面でいいと思います。例えば味噌を使うということは、だしも使うので、だしとか食材を使うという方に関心が向くので、味噌作りを体験することプラス食生活も豊かになると思いますので、ぜひ子育て世代の皆さんにも広めていただくと良いですね。

(中島委員)

私は、市民を対象にしておりますが、初めにお料理というと皆さん結構ハードルが高いです。味噌作りで調味料のひとつを知ってもらい、後で食のことに関心を持ってもらい、楽しくまたみんなで作ってもらえたらと思い味噌作りを最初に始めたのがきっかけです。そこから材料のことや、いろいろな食材のことで、地産地消等その他のことに繋がっていけばいいなという思いでやっている感じです。

(梅木会長)

若い世代に向けて発信するいい機会を持っていただいていると思いますので、大変だと思えますがこれからもよろしくお願ひします。

私から質問ですが、3ページのところで、子育て支援センターで、保護者が食についてどのように考えているかを知ることが必要であるということ課題として挙げていますが、これは、料理教室への参加者が、徐々に減ってきていることへのニーズの捉え直しをしなくてはいけないということかと思ひましたが、楽しん DE クッキングに参加する機会が減っているという状況が深刻なのでしょうか。

(事務局丸山)

曜日を変更して開催したようですが、昨年度は思ひたほど人数が集まらなかったというところで、やはり皆さん働いていて忙しいだとか、先ほど中島委員からもあったように、簡単で手軽でというところもありますので、意識が変わってきているのかを確認したいというところかと思ひます。今年はまだ曜日を変えて試しながら開催するみたいです。

(梅木会長)

分かりました。せつかく企画をしていただいているから、利用者側に届くような企画、実施を日取りや場所とか工夫してやっていただきたいと思ひます。

それから10ページの学校のところで市が実施するイベントを児童生徒に周知すると計画を立ててありますが、これは、これまでとは違ひ何か取り組みを新たにアプローチされていかれるということなのでしょうか。

(事務局丸山)

小学生、中学生はみんなタブレットを持ってはいるけれど、それは何でも活用することができるわけではないので、市のLINEやお便りなどで周知するというところで今検討中ということでした。

(梅木会長)

何か実現できるとデジタルの世代の子ども達ならではの情報の使い方もあるとは思ひますが、広く何でも届けられないという制約もあるということでしたので難しい面があるかもしれないですね。どういふ取り組みであれ、また報告を楽しみにしたいと思ひます。

次に「健康的な食習慣を身につける」というところは全世代に関して関係があるところだと思ひますが商工会の企業さんの話とか何かありますか。

(田志委員)

なかなか食育までは経営指導の中ではないです。

(梅木会長)

就労者に向けてのアクセスの場面としては田志さんがいらっしゃる商工会が適していると思ひますが、現在のニーズではあまり健康のことは上がってきていないということですね。

他に皆様からご意見ございませんか。

(林委員)

福津は海や山があり、食もイチゴとカリフラワー、花はトルコキキョウとか特産品がたくさんあり、産直市場はふれあい広場、あんずの里、お魚センターがあり、お魚も野菜もたくさんあるし美味しいと友人に胸を張ってPRしたのですが、そうかもしれんけど、みんなに知られとらんやんって言われたんですね。糸島はカキ小屋もあるし、産直市場も福岡市内どこからも詰めかけてみんな糸島に行ってしまうよねって。糸島は広報紙の紙ペーパーじゃなく、SNSやいろいろな媒体で宣伝が上手やもんね。福津もあるんやけど、福津は宣伝が下手だから全然知られてないよねって何人かから聞いたんですね。

福津の広報誌をつくる人事秘書課窓口に行ったら、ホームページや広報誌に載っています。と言われましたが、広報誌1ページから最後までくまなく見ることもしないし、特に今の働き世代、夫婦共働きの人達は広報誌なんか読めない、ホームページも読む暇なんかない。

私も、福津市の公式LINEに入っていて、毎日のようにイベントと等のお知らせが入ってきて、クリックしたらすぐそこから申込みができますよね。だからそういうのをもっと利用して、福津もいいところ、海も山も川もお魚も野菜もおいしいのだから、もっとその宣伝をしっかりとしたら野菜も売れるし、海水浴にも来るし、もっと市全体と市役所全体として広報に力を入れることをしたらどうなのかなと思います。

(梅木会長)

食育のイベントだったり取り組みだったり、生産者の情報とか、旬の情報とか、そういったこともLINEを通じながら、LINEに限らずかもしれないが、効果的な情報の発信の仕方に今後検討が必要で、より福津市の方の利用が多く評価されるような仕掛けも必要と思いました。

もちろん市外にも情報発信は必要ですが、地元でやっていることを地元の方に利用していただく機会をつくる仕掛けも必要と感じました。

続きまして議事2「食のイベントカレンダーホームページ掲載について」事務局より説明をお願いします。

(事務局丸山)

資料2-1をご覧ください。参加できる食のイベントをまとめています。直近では、8/2に食進会主催の「夏休み子ども食育教室」がありました。

資料2-2をご覧ください。地域や学校の食のイベントの紹介をまとめています。直近では、7月に上西郷小学校ですいか収穫体験がありました。

資料2-3をご覧ください。市ホームページには、食育の取り組みを写真入りで掲載しています。

(梅木会長)

ただいまの件についてご意見ご質問のある方はいらっしゃいませんか。では私から質問させてください。資料2-1には資料1に掲載されていた取り組みが大体こちらに網羅されているのでしょうか。8/25のCome 噛む DAY! の

イベントに関して掲載されていないようですが、全部把握していくのも本当に大変な作業だと思いますが、基本的には主催者のほうから、ここに載せてくださいという情報提供になりますか。

(事務局丸山)

食育推進プロジェクト会議が年2回あり、その時に各課のイベントを聞いています。変更があればその都度連絡をしてもらおうようにしていますが、今回は入れ忘れておりました。

(梅木会長)

カレンダーがどれぐらい利用されているかにもよりますが、せっかく企画しているのでも掲載していただくと取り組みの評価にも役立つと思いますのでぜひお願いします。

続きまして、議事3「広報ふくつ食育記事掲載について」をお願いします。

(事務局丸山)

資料3-1をご覧ください。各課の掲載月と内容をまとめています。

次に本日配布資料3-A・3-Bをご覧ください。

広報8月号では、表紙に食進会の皆さんの写真が掲載されていて、いきいき健康課が特集で「適塩生で健康を手に入れよう」の内容を掲載しています。

次に本日配布資料3-Cをご覧ください。

こちらでも広報8月号ですが、食育推進委員の中島さんの活動が紹介されています。その裏をご覧ください。「じゃがいも掘り体験」の内容が掲載されています。

(梅木会長)

この件に関して皆様から何かご意見ございますか。

(漆谷委員)

掲載の件ですが、現行のWHOが、最初はたばこで、次は酒で最近では砂糖に関して問題視していますが、砂糖は血糖値スパイクやいろんなことで問題があるので何か掲載してみたらよいかと思いますが何かありますか。

(事務局丸山)

砂糖についての広報への掲載は特集しています。(令和2年9月号での特集)また、飲料に含まれる砂糖量をふくとびあに展示し、成人健診や乳幼児健診でもお伝えしています。

(梅木会長)

記事が大々的に載るっていうのは、すばらしいなと思っているところですが、毎年この話題はどうやって決めているのでしょうか。

(事務局丸山)

砂糖や塩分については、いきいき健康課が決めて掲載しました。

(梅木会長)

子育て世代でこういったページを掲載することはないですか。

(事務局丸山)

子育て世代包括支援課では福津のめぐみで料理名人の特集と、こども家庭センターの特集などをしました。

(梅木会長)

2つの課がそれぞれ食育に関する記事を載せていただいているのでいいですね。。特に子育てのところは子どものためというところと子育て世代の親御さんの世代にも働きかけるので、大変意義深いことだと思いますので、ぜひ今後も続けていただければと思います。

続きましてほかにどなたかご意見はございませんか。ないようですので議事を終了し事務局へお戻しします。

(事務局安部)

これで本日の予定は全て終了いたしました。

会議録につきましては、事務局で作成し、梅木会長にご確認いただいた後で、委員の皆様にお送りしたいと思います。

本会議の開催は年2回を予定しておりまして、次回会議は、来年2月頃を予定しております。

なお、第2次福津市食育推進計画が令和8年度までの10年計画となっております。令和7年度は、第3次食育推進計画の策定のための食育アンケートを予定しておりまして、そのため、次回の会議から、第3次食育推進計画の策定に向けて、アンケートの内容など皆様のご意見をお伺いしたいと考えております。どうぞよろしく申し上げます。